

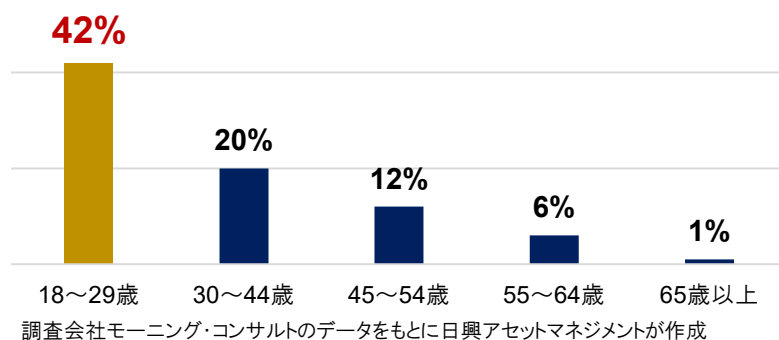
PICK UP  
TOPICS

若年層がけん引するフィンテック

幼いころからインターネットやパソコンのある生活環境の中で育ってきたデジタルネイティブとも言われる若年層。一般的に金融サービスに対しても利便性だけでなく透明性や効率性の要求が高いと言われており、今後のフィンテック拡大のけん引役になると期待されています。

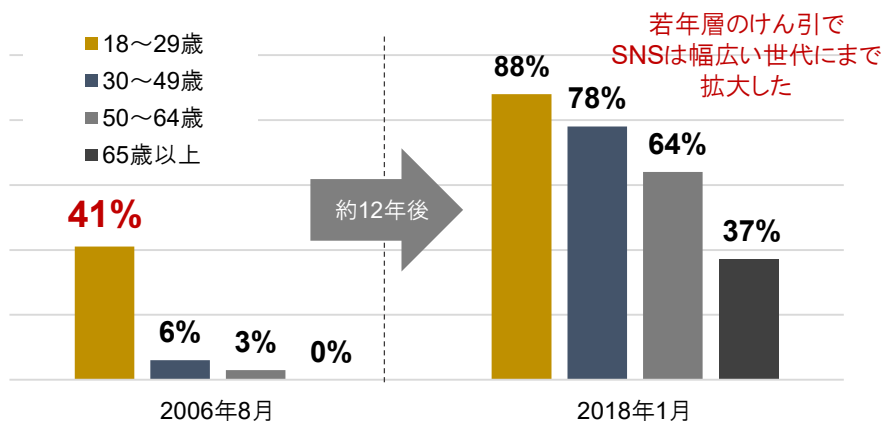
■年齢層別のVenmoの利用者率(米国、2017年7月調査)

実際、ペイパルが運営する米国の代表的なモバイル決済サービス「Venmo(ベンモ)」の利用者率をみると、30歳以上の利用者率は相対的に低い一方、若年層の利用者率の高さが目立っています。



SNSも、十数年前は若年層以外の利用者率は低い状況でしたが、現在は若年層を起点に、幅広い世代に使われるようになりました。デジタル化と技術革新が急速に進む現在、フィンテックのサービスも、SNSと同様に幅広い世代へ拡大していく可能性があると考えられます。

■米国の年齢層別のSNSの利用者率の変遷  
(2006年8月時点、2018年1月時点)



調査会社ピュー・リサーチ・センターのデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

掲載銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。



○当資料は、日興アセットマネジメントが「フィンテック」についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。○投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。